

”絆”きずな

出版責任者

訪問リハビリ
テーション振興
委員会

制度改正後の振興委員会の活動

今年度の介護報酬の改定では、訪問リハビリテーションに関する役割と期待が明確になったと考えています。地域包括ケアシステムの構築に向け、リハビリテーションマネジメントを適正に実行し、効果的リハビリテーションを提供し、活動と参加に結び付けること、そして、多職種共同で自立支援に結び付けるケアの推進することです。訪問リハビリテーション振興委員会では、各都道府県のリーダー会議を開催し、その重要性を共有しています。

また、各地域での実務者研修会では、活動と参加について検証し、事例を通じて研修方針を示しています。さらに、広く訪問リハビリテーションの在り方を広報する為、本年度2回の訪問リハビリテーションフォーラムを開催しました。今後、次期同時改定に向けた調査を強化し、3協会として政策提案をして参ります。

訪問リハビリテーション振興委員会 委員長 松井 一人

訪問リハ・地域リーダーの”絆” ご当地紹介⑮ 東京都編

先日、第6回訪問リハビリ実務者研修会が行われました。今回初めて2日間の研修内に1日のみ参加可という枠を設けたこともあり、参加者数は前年に比べ多くの方にご参加頂き、盛況のうち終了することができました。

他東京都では、東京都地域連携会議、3土会地域包括ケア会議、地域包括ケアに関する人材育成研修、若手の理学療法士および作業療法士実務研修、地域リハビリテーション専門人材育成研修（初任者・現任者）等、東京都事業としての研修等も行われております。

これらにより本来目指すべきチーム医療（多職種との連携・協働）、リハビリセラピストとしての質の向上（専門性の追求）が果たせるのではないかと期待しております。

東京都訪問リハビリテーション地域リーダー 窪田幸生
河北リハビリテーション病院 理学療法士

在宅リハビリテーションによる「活動」と「参加」へ向けた実践報告

訪問リハビリテーションフォーラム2015 part2を平成27年11月27日に開催致しました。昨年と同様にHOSPEX Japan展示会場内の特設セミナー会場にて大入り満員の中行われました。地域包括ケアシステムにおいて訪問リハビリテーションがいかに「活動」「参加」に向けた自立支援へ有用かについて検討いたしました。

厚生労働省 老健局 老人保健課 村井 千賀氏をお迎えし『「活動」と「参加」へ繋げるリハビリテーションの重要性と課題』を講演いただきました。その後、シンポジウム形式で実践報告され、リハビリテーションは「活動」「参加」を軸に関わる事で様々な成果をあげている事が報告されました。また、多職種と連携する事の重要性についても再認識できるシンポジウムではなかったかと考えます。多くの参加者から非常に有意義だったとのアンケートが寄せられており、大好評のシンポジウムとして終わらせることができました。



一般財団法人訪問リハビリテーション振興財団 組織化班 山口 勝也